



# DIVAGATION (蛇行)

実施期間: 2010年4月15日～5月20日

ある一つの特定の場所について語っていただけますか？  
その場所は、あなたの仕事、または別な活動、日々の生活と関係があるところですが、その場所は、屋外であれば、実在する場所でも、想像上の場所でも結構です。

私は、フランスの造形美術作家、ヴァレリー・デュ・シェネです。フランス文化省関連機関の給費を得て、日本に2010年4月8日～5月24日まで滞在します。  
滞在期間中、DIVAGATION(川の流れるが蛇行して変わっていく)というアートプロジェクトの実施を通して、日本の空間を体験したいと考えています。このプロジェクトを実施するため、東京都在住の方の中から、仕事、生活または想像の場所から、自分にとってある一つの特定の場所について語って下さる方を募っています。  
ご参加いただける方々へのインタビュー(通訳付)を行い、その報告書を造形美術作品として、『正しい、あり得ない建築』を再構成・創作することによって、私が近年、強い関心を持っている日本の空間とその「景色」を少しずつ掴みとってみたいと考えています。  
インタビューの成果は、フランス帰国後に予定されている展覧会出品作品として展示され、その記録出版物に収録されます。

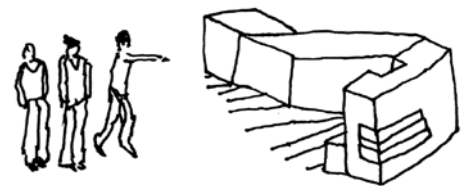
## 第一段階: インタビュー

参加者への面談(通訳付)というかたちで、選ばれた特定の場所について語っていただきます。  
実在する場所でも、想像上の場所でも、風景または建物の一部でも、非常に大きくても、小さくてもよいのです。参加者の方に、特定した場所について記述していただくために、その場所や建物の形、グラフィックに関する質問票を用意しています。質問は、その場所の、量感、色、素材感、所在地、アクセス、光・照明等に関するものです。  
インタビューの終わりに、参加者の方には、自分が特定した場所を示す略図を描いていただくことをお願いします。



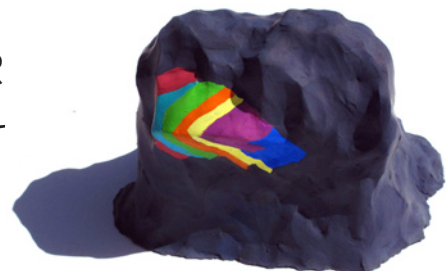
## 第二段階: 見学

現実に存在する場所を参加者の方が選んだ場合、私は、参加者と一緒に、または参加者の記述に従って、自分自身でその場所を実際に見に行きます。  
想像上の場所の場合は、インタビューの質疑応答をもとに私が描いたスケッチを参加者の方に見ていただきます。



## 第三段階: 制作

最初のインタビューの際、参加者から提供された場所に関する報、そして場所を訪れた際に得た感覚・印象をもとに、私は、グッシュ画、デッサン、模型、立体(木または着色したテラコッタ)等、聴取、見学した場所を作品で再構築します。



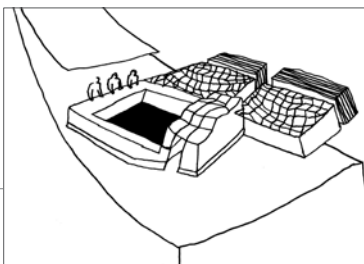
このプロジェクトに関心を抱いていただき、ご参加いただける場合、  
ヴァレリー・デュ・シェネまで  
ご連絡ください。面談の日程をご相談させていただきます。  
duchenevalerie@orange.fr  
www.duchenevalerie.com

# DIVAGATION

例) 第一段階 : インタビューの質問票



月日 NO. 氏名 職業 年齢
場所の名称 実在する場所ですか？ 想像上の場所ですか？ その場所を選んだ理由 所在地 機能
雰囲気 天候 言葉/記号
建造年代 スペース 量感/ 形状 大きさ 凹凸
高さ制限の有無 素材 地肌(感触) 色 光 音
シンボル(象徴) 美的 通行
密度 人口 臭い
樹木・植物 感覚
詳細



このプロジェクトに関心を抱いていただき、ご参加いただける場合、  
ヴァレリー・デュ・シェネまで  
ご連絡ください。面談の日程をご相談させていただきます。  
duchenevalerie@orange.fr  
www.duchenevalerie.com